

第77回神奈川県農業協同組合大会決議に基づいた 3か年の事業・活動の実践に向けて

令和6年11月28日に開催した第77回神奈川県農業協同組合大会において、JAグループ神奈川の向こう3か年（令和7～9年度）の協同活動の指針を決議し、2つの基本目標と6つの実践事項を定めました。

JAグループ神奈川の各組織は、県大会決議を指針として、食・農・地域の未来を創るべく、対話などにより組合員等の評価と意思を反映した事業・活動を展開し、持続可能な農業・JA経営基盤の確立・強化・発展を目指すとともに、働きがいのある職場づくりに取り組みます。

<第77回県農協大会決議の全体像>



第77回神奈川県農業協同組合大会決議

未来につなぐ協同の力

—食と農を支える協同活動と総合事業の展開—

基本目標Ⅰ：

「かながわ農業と健康で豊かなくらしを支える事業および活動の展開」

実践事項1. 地域農業振興による農業所得向上の実現

個別項目

- (1) 行政等や地域と連携し、農地等の維持・担い手の確保を図ります。
- (2) 持続可能な農業経営を確立します。
- (3) 実需者ニーズや生産状況を踏まえた販売戦略等を展開します。

実践事項2. 持続可能な農業の実現に向けた農政対策および広報戦略等を通じた理解促進

個別項目

- (1) かながわ農業を支える政策の確立を図ります。
- (2) 「食」と「農」の重要性およびJAに関する理解促進を図るため、戦略的に広報活動を展開します。

実践事項3. 健康で豊かなくらしを支える事業および協同活動の展開

個別項目

- (1) 健康で豊かなくらしを支える総合事業を展開し、組合員のくらしに寄り添う接点創出・強化に取り組みます。
- (2) 支所店等を拠点として地域に根ざした協同活動を展開します。
- (3) 他の協同組合や行政をはじめ地域の各種組織との連携を強め地域の活性化に取り組みます。

基本目標Ⅱ：

「持続可能な協同組合としての組織基盤・経営基盤の確立と人づくり」

実践事項1. 組合員との関係強化と運営参画促進

個別項目

- (1) 組合員との関係強化を図り、組合員主体のJA運営を徹底します。
- (2) 組合員後継者・女性のJA運営参画を進めます。
- (3) 准組合員と農業・JAのつながりを強めます。

実践事項2. 持続可能な総合事業機能発揮を支える経営基盤の確立・強化

個別項目

- (1) 将来収支見通しを踏まえた改善施策の実践等、継続的に総合事業機能を発揮し得る経営基盤を確立します。
- (2) 組合員・利用者から信頼されるリスク管理態勢の確立と内部統制の充実強化に取り組みます。
- (3) 情報技術を活用した利便性向上・業務効率化への取り組みと持続可能なシステムの構築・運用を図ります。

実践事項3. 情勢変化に対応し得る協同組合らしい人づくり・職場づくり

個別項目

- (1) 協同活動の礎となる組合員学習等を充実します。
- (2) 情勢理解に資する役員研修と協同組合の本質を踏まえ環境変化に対応し得る職員の育成に努めます。
- (3) 必要な人材確保と経営収支の両立を図る職員の処遇改善と働きがいのある職場づくりに取り組みます。